



## 第5回VERAユーザーズ・ミーティング報告

蒲原龍一(水沢VERA観測所)

2007年11月12日から13日にかけて第5回VERAユーザーズミーティングが国立天文台三鷹キャンパスで行われました。

水沢VERA観測所ではVERAシステムを利用したプロジェクト観測を行いつつ、他方では一般ユーザーに対して共同利用をオープンしてきました。一昨年度までは観測のリスクを共有してもらった試験的共同利用でしたが、システムが想定通りの性能を出していることが確認でき、昨年度からは一般的な共同利用に変更して世界にオープンすることになりました。

今回のユーザーズミーティングは、今年度の共同利用の提案書締め切り直前のユーザーズミーティングであるという意味でVERAシステムや解析状況の説明等がとても重要な意味を持つ会になりました。

国内の大学の教官や大学院生を中心に海外からも参加があり、24件の口頭発表と17件のポスター発表に対して活発な議論がされました。プロジェクト観測の結果として、近距離分子雲立体構造、晩期型星周期光度関係、中距離天体距離計測、銀河系中心領域等についてVERAの各担当者から話がありました。今回の報告では、昨年度報告したS269やオリオンKLの観測結果に加えて新たに距離の測定に成功した天体についても報告があり、注目を集めていました。共同利用の結果として、星形成や晩期型星の周囲の水メーザーの観測結果に加え、マイクロクエーサーのフレアの観測結果も報告され、VERAの観測対象がさらに広がってきました。

2007年度の共同利用は22GHzのみの公開です。一般ユーザーからは、一酸化ケイ素メー



▲参加者50人を超えたミーティング。

ザーの観測ができる43GHz帯の共同利用解禁の強い希望もあり、今後の検討事項となりました。

関連プロジェクトの講演では、大学連携VLBI観測、光結合観測網、VSOP-2、KVN (Korean VLBI Network)、東アジアVLBIネットワークなど、現在進行中のプロジェクトの詳細な内容が具体的に報告されました。特に、2007年9月の打ち上げに無事成功したSELENE計画では、打ち上げからの記録と最新の衛星の状況が報告され、多くの参加者の興味を引いていました。

大学院生の参加が多いこともあり、第1日目の夜に行われた懇親会は非常に盛り上がりました。VERAの本格的な共同利用を通して多くの研究者が育てていただきたいのだと願っています。

●研究会の内容を <http://veraserver.mtk.nao.ac.jp/restricted/UM2007/index.html> に公開していますので、ご興味のある方は是非そちらもご覧ください。



▲懇親会はさまざまな議論で盛り上がりました。



▲VERA水沢観測局の20メートル鏡